

会 議 録

名 称		令和6年度 松山市国民健康保険運営協議会（第1回）
事 務 局		福祉推進部保険給付・年金課 総務担当 T E L 0 8 9（9 4 8）6 3 7 6 F A X 0 8 9（9 3 4）2 6 3 1
開催日時		令和6年11月5日（火） 午後2時～午後3時10分
開催場所		松山市役所別館6階 第1委員会室
出席者	委 員	被 保 険 者 代 表：河端美知子、松下郁子、竹内典子、岡田英子、梶川志津子 医 療 機 関 代 表：井上洋、宇田雅実 公 益 代 表：田中洋子、北川敦史、加藤和子、越智裕子、大鹿義弘 被用者保険等代表：谷水恭子、三浦淳一郎
	事務局	福祉推進部 部長 富田定伸、地地域福祉担当副部長 田中健太郎、 健康保険課課長 飯尾賢太郎、保険給付・年金課 課長 仙波泰司 ほか8名
議 題		国民健康保険事業の健全化について
議事内容		1. 開会 2. 会長選出 3. 諮問 4. 議事 (1)松山市国保会計の収支状況と分析について (2)松山市国民健康保険料の見直しについて 5. 閉 会 【委員からの意見等（一部抜粋）】 ● 4 (2) 松山市国民健康保険料の見直しについて ・歳出事業の積極的な見直しについて、具体的にどういった事業を見直すのか。 →任意で実施しているはり・きゅう助成の見直しを検討している。利用者が少ないこと、他の保険制度では実施していないことなどから、厳しい財政状況の中で保険料を財源に継続するのは難しいと考えている。 ・保険適用外のはり・きゅう助成は健保組合では実施していない。 ・保険料を見直す中で、歳出事業の積極的な見直しと歳入増加の取組の計画を粛々と進めていただきたい。 ・重複受診・多剤服用対策にも積極的に手を付けていただきたい。健診率や保健指導率が良いところは、医療費が1万円程安いので、優秀な地域の取り組みを他の地域に広げていくような取組をお願いしたい。 ・保険料の改定で収支均衡を目指すのか。 →収支均衡を目指しているが、一度に黒字化するのではなく、繰越金 28.4億円を活用しながら徐々に収支を均衡させたい。 ・具体的に保険料はどれくらい上がるのか。 →来年度の標準保険料率は年明けに示されるため、現時点で具体的な金額はお示しできない。既に均等割と平等割をあわせて2万5千円程度乖離しているため、これを平均し改定するイメージでご理解いただきたい。 ・できるだけ早く、赤字にならないような対策をしてもらいたい。 ・保険料を払う側からすればあまり上げて欲しくないが、しょうがない。なるべく改定額は抑えていただきたい。
備考（資料）		議事資料
公開・非公開		全部公開 部分公開 非公開
傍聴者数		3人（5席）